

皆さん、新年あけましておめでとうございます。令和3年が始まりました。この令和3年は、人類が、新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の開発を通して、新型コロナウイルスに打ち勝つ記念すべき年になってほしいと切に願います。しかしながら、年末・年始にかけて栃木県では感染が拡大し、最近1週間の人口10万人当たりの感染者数は全国で4番目に多いそうです。宇都宮市長からは独自の緊急事態宣言も出されました。私たちは今まで以上に感染防止対策を取っていく必要があります。接触感染を防ぐため、手洗い・消毒を今まで以上に細目に行ってください。飛沫感染を防ぐためマスクを外す時間を極力減らします。外遊びでも必ずマスクをしてください。マスクをして苦しくなるような遊びはしません。体育の時間も激しい運動以外はマスクをします。皆さんと大切な家族の安全と命を守るためです。必ず守ってください。

さて、新年にあたり、皆さんには、ぜひ夢や目標を立ててほしいと思います。そして、夢や目標に向かって努力してほしいと思います。そんなことを言うから水を差すようですが、努力すれば夢や目標は必ず叶うのでしょうか。決してそうではないのが現実です。例えば、高校野球の栃木県大会の出場校は59校あります。そのほとんどの学校の野球部員は甲子園出場を夢に苦しい練習に耐え努力しています。しかし夢が叶い甲子園に行けるのは優勝した1校だけです。では、残りの58校の学校の野球部員は努力が足りなかったのでしょうか。努力を惜しんだ怠けものなのでしょうか。決してそんなことないはずです。優勝校に勝るとも劣らない努力をした学校はたくさんあるはずです。

それじゃ、「努力しても意味がない」と考える人もいるかもしれません。でも甲子園出場という夢は叶わなくも、努力して補欠からレギュラーになり試合にでることができた、努力して公式戦で初めてヒットを打つことができた等という、その人なりの成果・達成感を得ることができた人は必ずいるはずです。他の人から見れば小さい成果かもしれませんが。でも努力を続けて成果・達成感を得られたこと、自分の望ましい姿に近づけたことは自信になります。これらの成功体験は、さらに自分を成長させるため努力しようとするエネルギーになります。皆さんの人生をより良くするため、このような習慣・考え方をぜひ身に付けてほしいと思います。そして努力を続けるためのエネルギーとして明確な夢や目標が必要なのです。

最近、業間や昼休みに4年生が高鉄棒で逆上がりの練習をしているのをよく目にします。高鉄棒ですから、地面をけることができませんので、逆上がりは難しいです。何日が後に「高鉄棒の逆上がりは難しいよね」と声をかけると「できるようになりました」と言って見せてくれました。努力してできるようになる喜び、そして努力を続けられること、素晴らしいです。